

報告事項 3

地域公共交通導入伴走支援の支援状況について

令和5年3月28日提出

東広島市地域公共交通会議
会長 塚井 誠人

1 提案理由

地域公共交通導入伴走支援の支援状況（地域公共交通導入の進捗状況）について報告を行うもの。

2 地域公共交通導入の進捗状況について

別紙「資料4」のとおり

地域公共交通導入の進捗状況について

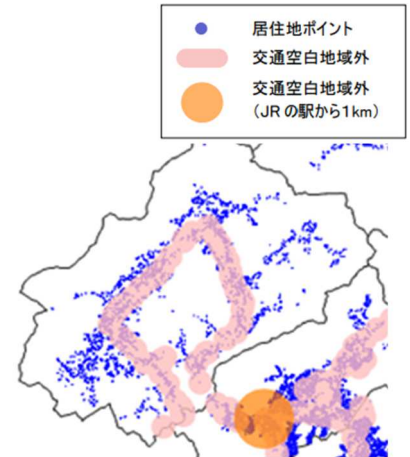
1. 志和地域での進捗状況

(1) 検討の経緯

①現状

志和地域には、芸陽バスの「志和循環線」が運行していますが、居住地が広範囲に分散していることから交通空白地（バス停等 400m、駅 1km 圏外）に居住する住民の割合が高く、また高齢化も進んでいます。地理的にも定時定路線の大型バスでは通ることができない狭隘な道路が多く、現在運行しているだけでは、円滑な移動が確保できるとは言えない状況にあります。

志和循環線については、通勤・通学時間帯の利用が多く、日中の時間帯は利用が少ない傾向となっています。



平日

時間帯	IC払い	定期利用	合計	IC払い (1日あたり)	定期利用 (1日あたり)	合計 (1日あたり)
5時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
6時台	60	0	60	2.86	0.00	2.86
7時台	79	0	79	3.76	0.00	3.76
8時台	157	14	171	7.48	0.67	8.14
9時台	89	0	89	4.24	0.00	4.24
10時台	75	0	75	3.57	0.00	3.57
11時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
12時台	47	0	47	2.24	0.00	2.24
13時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
14時台	16	0	16	0.76	0.00	0.76
15時台	44	14	58	2.10	0.67	2.76
16時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
17時台	114	8	122	5.43	0.38	5.81
18時台	45	7	52	2.14	0.33	2.48
19時台	35	15	50	1.67	0.71	2.38
20時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
不明	15	0	15	0.71	0.00	0.71

土日祝

時間帯	IC払い	定期利用	合計	IC払い (1日あたり)	定期利用 (1日あたり)	合計 (1日あたり)
5時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
6時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
7時台	12	0	12	1.33	0.00	1.33
8時台	44	0	44	4.89	0.00	4.89
9時台	19	0	19	2.11	0.00	2.11
10時台	20	0	20	2.22	0.00	2.22
11時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
12時台	3	0	3	0.33	0.00	0.33
13時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
14時台	26	0	26	2.89	0.00	2.89
15時台	10	4	14	1.11	0.44	1.56
16時台	1	0	1	0.11	0.00	0.11
17時台	10	0	10	1.11	0.00	1.11
18時台	10	0	10	1.11	0.00	1.11
19時台	3	1	4	0.33	0.11	0.44
20時台	0	0	0	0.00	0.00	0.00
不明	2	0	2	0.22	0.00	0.22

R3. 4月 PASPY データ

②会議等の開催

新交通を検討する場として、アンケート実施までは「運行準備会（西志和まちづくり自治協議会、志和堀住民自治協議会、東志和住民自治協議会からメンバーを選出）」、アンケート実施後は「志和新公共交通システム運営委員会（3自治協議会）」を月に1回開催しています。

日時	検討内容	会議
6/17	地域の整理概況	第1回運行準備会 ・5/23 に実施した志和循環線の試乗と芸陽バスとの意見交換の振り返り ・今年度の進め方について
7/15	（アンケート調査の把握）	第2回運行準備会 ・アンケート調査票について
7~8月		アンケート調査実施
9/9		第3回運行準備会 ・アンケート調査の結果について
9/28		第1回志和新公共交通システム運営委員会 ・アンケート調査（追加集計等）の結果について



10/28	（交通事業者ヒアリング調査） 運行計画の検討	第2回志和新公共交通システム運営委員会 ・各地域で検討した新交通システムのイメージについて
11/30		第3回志和新公共交通システム運営委員会 ・デマンド交通に対する認識の共有 ・運行計画のたたき台
12/22		第4回志和新公共交通システム運営委員会 ・ターゲット、運行形態、運行範囲等について
1/18		第5回志和新公共交通システム運営委員会 ・組織体制について ・運行形態、運行範囲等について
1/25		芸陽バスとの打ち合わせ ・志和循環線と役割分担し、持続可能な運行サービス
2/24		第6回志和新公共交通システム運営委員会 ・組織体制について ・運行形態、運行範囲等について
3/16		志和タクシーとの協議
3/16		第7回志和新公共交通システム運営委員会 ・志和タクシーとの協議状況について ・運行形態、運行範囲等について

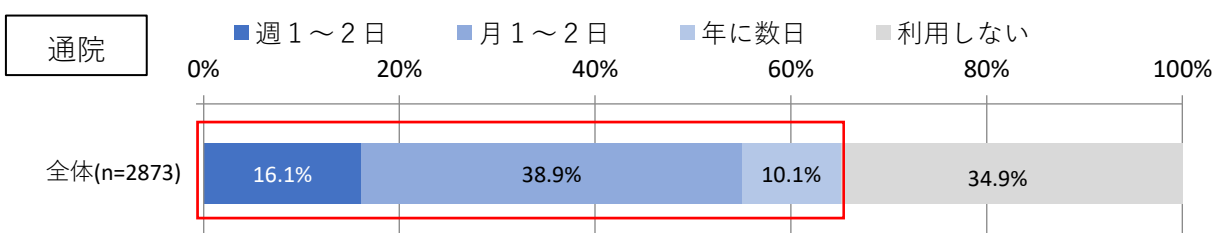
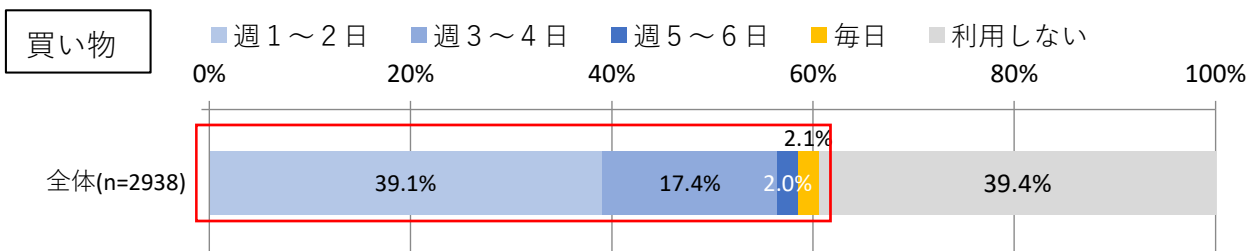
（2）各種調査

①アンケート調査

調査時期	令和4年7月25日頃配布～8月10日回収締切
対象者	志和町内中学生以上の住民 (中学生以上の学生は学生用、それ以外の方は一般用の調査票を使用)
調査方法	各班長を通じて各世帯へ依頼文及び調査票、封筒を配布 ※世帯の人数により調査票の配布数を調整
配布・回収数	対象人口：一般5,660人、学生481人 回収部数：一般3,170人、学生175人 回収率：一般56.0%、学生36.4%

<利用意向（70歳以上）>

- 地域住民の約60%の方が利用したいと回答しています。



<利用が多い施設>

- 地域内の移動だけでなく、八本松方面の移動ニーズもあります。

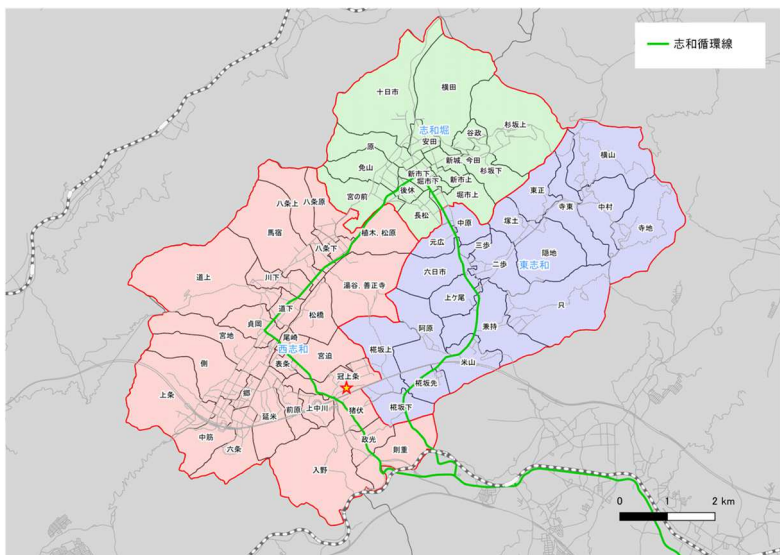
区別	順位	西志和	志和堀	東志和
医療機関	1	東広島医療センター	さえき医院	さえき医院
	2	さえき医院	東広島医療センター	東広島医療センター
	3	三木医院	のぞみ整形外科クリニック	八本松病院
商業施設	1	ショージ志和店	ミスターマックス八本松店	ゆめタウン東広島
	2	ミスターマックス八本松店	ゆめタウン東広島	ミスターマックス八本松店
	3	ゆめタウン東広島	ショージ志和店	ゆめマート八本松店

②芸陽バスへのヒアリング調査

- 地域内に必要な移動手段について、住民の皆さんに将来も続く、持続可能な公共交通のあり方について考えてもらいたい。
- 志和地区から八本松駅まで運行することになれば、既存路線への影響は避けられない。さらに、運転手不足などにより将来的に路線の維持が難しくなる。
- 新交通が地区内での移動とし、八本松までの移動を新交通と既存路線を乗り継いで移動するなど、路線の役割分担をすれば、共存の可能性はある。

(3) 運行の方向性

朝夕は芸陽バスが運行する志和循環線が主に通勤・通学の移動を担い、昼間は新たにデマンド型区域運行（ミーティングポイント型）で志和町内の買物、通院等の移動を担う。八本松への移動は志和循環線へ乗り継いで移動することを検討しています。



(4) その他

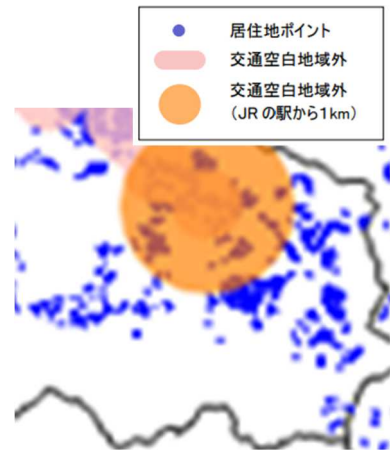
志和循環線とのすみ分け以外に志和町内を運行しているスクールバスとの共創についても検討を行っていく方針です。

2. 小谷地域での進捗状況

(1) 検討の経緯

①現状

小谷地域内のほぼ中央に白市駅があり、芸陽バスが白市駅から北西部に向けて運行を行っていますが、地域内を運行している公共交通はありません。住宅が点在しているエリアと、ある程度住宅が固まっている団地が混在していますが、駅周辺以外は交通空白地（バス停等 400m、駅 1km 圏外）となっており、さらには団地などを中心に高低差が大きい場所が多くあります。また狭隘な道路が多く、山陽線をまたぐ南北の移動には線路の下をくぐる必要があり、大型車両の通行は困難な状況です。



②会議等の開催

小谷小学校区運行準備組織（小谷小学校区市民協働まちづくり協議会）により、月に1回運行準備会議を開催しています。

日にち	検討内容	会議等
6/8	(アンケート調査・地図づくり) 移動需要の把握	第1回運行準備会議 ・スケジュール確認 ・アンケート調査の実施方法
6/30		第2回運行準備会議 ・アンケート調査の内容
7/21		第3回運行準備会議 ・アンケート調査の内容、配布・回収方法 ・移動ニーズに合致した運行計画作成のための地図の整理のツールの紹介
8~9月		アンケート調査実施
9/15		第4回運行準備会議 ・ワークショップ（利用想定者をピックアップする地図づくり）
11/1		第5回運行準備会議 ・アンケートの集計結果
12/6	(交通事業者ヒアリング調査) 運行計画の検討	第6回運行準備会議 ・運行形態について
1/10		現地試走
1/17		第7回運行準備会議 ・運行計画について
1/31		白市交通協議
2/7		第8回運行準備会議 ・運行計画について（運行便数、ダイヤ）
3/7		第9回運行準備会議 ・運行計画について（運行便数、ダイヤ、ルート・バス停の修正、運賃）

(2) 各種調査

①アンケートの実施

調査時期	令和4年8月10日頃配布～9月10日回収締切
対象者	小谷小学校区の中中学生以上の住民
調査方法	各班長を通じて各世帯へ依頼文及び調査票2部、封筒を配布
配布・回収数	対象世帯数：1,502世帯 回収部数：1,355部

▼買い物での利用意向

属性		週1～2日	週3～4日	週5～6日	毎日	利用しない
年代	10代	6	1	0	2	9
	20～50代	104	61	11	10	179
	60～70代	254	164	15	13	227
	80代～	60	22	5	0	20
	年代不明	59	25	3	6	40
現在の移動手段	自分で運転する自動車	351	224	27	23	418
	家族や知人が運転する自動車	187	90	9	11	122
	自転車・バイク	50	31	5	10	53
	タクシー	51	33	2	4	11
	シルバーカー	3	0	0	0	2
	徒歩	121	65	9	12	110
	施設・お店の送迎	7	3	1	0	4
	鉄道(白市駅から)	141	100	13	12	123
	その他	7	2	0	0	1

②マップの作成 (ワークショップ)

移動に困っている人のうち、すぐにでも利用する高齢者、数年後に利用しそうな高齢者、その他（学生など）の分類し、自治会ごとに大判印刷した地図にシールを貼って整理を行うワークショップを第5回運行準備会議の中で一部を実施し、残りは地域で仕上げました。



③現地試走

仮で設定した運行ルートを基に、検討組織のメンバー4人を含めて試走を実施。この結果を踏まえて運行ルートの一部を変更しました。



④白市交通との協議

全面的に協力するとの回答を得ることができ、白市タクシー保有のジャンボタクシーが活用を行う予定です。

(3) 運行の方向性

- 地域の強い希望を受け、定時定路線（5路線に分割）で進める方向。
- 各エリアから白市駅、ショージ、医療機関を経由するルートを検討中。
- 5路線を2つに分けて各エリアを週3日運行。

▼運行ルート案

